

高等学校 令和7年度（2年次用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎 単位数： 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 4 組

使用教科書：（ 数研出版 生物基礎 ）

教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】生物について理解し、基本的な知識と技能の習熟を図る。
- 【思考力、判断力、表現力等】生物について科学的に考察する能力を培い、人間生活との関連性を意識できるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】生物を理解しようとする態度、科学的論拠に基づいて判断しようとする態度を育てる。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物の特徴、遺伝子とそのはたらき、体内環境の維持や生態系について科学的に理解し、基本的な知識や技術が習得できている。	生物の特徴、遺伝子とそのはたらき、体内環境の維持や生態系について科学的に考察する能力を培い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断する力が養われている。	生物の特徴、遺伝子とそのはたらき、体内環境の維持や生態系を理解する態度、科学的論拠に基づいて判断しようとする態度が身についている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>第1章 生物の特徴</p> <p>第1節 生物の多様性と共通性</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生物が「細胞からできている」、「遺伝情報を伝えるDNAをもつ」、「エネルギーを利用する」などの共通性をもつことを理解する。</li> <li>生物の持つ共通性は共通の祖先に由来することを理解する。</li> <li>一方で生物が多様なのは、進化の過程であることを理解する。</li> <li>多様な生物の基本単位である「細胞」の共通点と相違点を理解する。</li> <li>顕微鏡などを用いた観察の技能を身につける。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>系統樹を正しく読み取ることができる。</li> <li>様々な生物の比較に基づいて、生物の共通性について見出すことができる。</li> <li>生物でないものについて、「生物の共通性」をもとに理解し、説明できる。</li> <li>観察から生物の共通性と多様性を見出し、説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生物の多様性と共通性に関心をもち、主体的に学習に取り組める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○生物の多様性と共通性                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>多様性</li> <li>共通性</li> <li>系統</li> <li>系統樹</li> <li>適応</li> <li>進化</li> <li>細胞</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>教材                             <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書、副教材、ワークシート</li> </ul> </li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生物が「細胞からできている」、「遺伝情報を伝えるDNAをもつ」、「エネルギーを利用する」などの共通性をもつことを理解できている。</li> <li>生物の持つ共通性は共通の祖先に由来することを理解できている。</li> <li>生物が多様なのは、進化の過程であることを理解できている。</li> <li>多様な生物の基本単位である「細胞」の共通点と相違点を理解できている。</li> <li>顕微鏡などを用いた観察の技能が身についている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>系統樹を正しく読み取ることができる。</li> <li>様々な生物の比較に基づいて、生物の共通性について見出すことができる。</li> <li>生物でないものについて、「生物の共通性」をもとに判断し、説明できる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生物の多様性と共通性に関心をもち、主体的に学習に取り組めている。</li> </ul>	○	○	○	17
<p>第2節 エネルギーと代謝</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生命活動にはエネルギーが必要であり、そのエネルギーはATPから供給されていることを理解する。</li> <li>ATPが生命活動にエネルギーを供給する仕組みを理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヒトがエネルギーを取り入れる方法について説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギーと代謝に関心をもち、主体的に学習に取り組める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○エネルギーと代謝                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>代謝</li> <li>同化</li> <li>異化</li> <li>ATP</li> <li>独立栄養生物</li> <li>従属栄養生物</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>教材                             <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書、副教材、ワークシート</li> </ul> </li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生命活動にはエネルギーが必要であり、そのエネルギーはATPから供給されていることを理解できている。</li> <li>ATPが生命活動にエネルギーを供給する仕組みを理解できている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ヒトがエネルギーを取り入れる方法について説明できる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>エネルギーと代謝に関心をもち、主体的に学習に取り組めている。</li> </ul>	○	○	○	
<p>第3節 呼吸と光合成</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸や光合成の過程で、ATPが合成されていることを理解する。</li> <li>酵素のはたらきや特徴を理解する。</li> <li>生体内の化学反応が酵素のはたらきによって進行していることを理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実験結果から酵素の触媒作用と基質特異性について理解する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸と光合成に関心をもち、主体的に学習に取り組める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導事項                             <ul style="list-style-type: none"> <li>○呼吸と光合成                                     <ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸</li> <li>光合成</li> <li>酵素</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>教材                             <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書、副教材、ワークシート</li> </ul> </li> <li>一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸や光合成の過程で、ATPが合成されていることを理解できている。</li> <li>酵素のはたらきや特徴を理解している。</li> <li>生体内の化学反応が酵素のはたらきによって進行していることを理解できている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実験結果から酵素の触媒作用と基質特異性について理解できている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>呼吸と光合成に関心をもち、主体的に学習に取り組めている。</li> </ul>	○	○	○	
前期 定期考査			○	○		1

<p>第2章 遺伝子とその働き</p> <p>第1節 遺伝情報とDNA</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DNAの構造及び塩基の相補性を理解する。</li> <li>・DNAの塩基配列が遺伝情報となっていることを理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DNAの構造の模式図をもとに、DNAが4種類の塩基からなること、塩基の結合はAとT、GとCの間で起こるという規則性に気づき、説明できる。</li> <li>・DNAの研究史から実験方法や結果を考察する。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遺伝情報とDNAに関心をもち、主体的に学習に取り組める。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>○遺伝情報とDNA</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DNA</li> <li>・塩基配列</li> <li>・相補性</li> </ul> <p>・教材</p> <p>教科書、副教材、ワークシート</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DNAの構造及び塩基の相補性を理解できている。</li> <li>・DNAの塩基配列が遺伝情報となっていることを理解できている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DNAの構造の模式図をもとに、DNAが4種類の塩基からなること、塩基の結合はAとT、GとCの間で起こるという規則性に気づき、説明できる。</li> <li>・DNAの研究史から実験方法や結果を考察できている。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遺伝情報とDNAに関心をもち、主体的に学習に取り組めている。</li> </ul>	○	○	○	
<p>第2節 遺伝情報の複製と分配</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DNAが半保存的複製という方法によって正確に複製されることを理解する。</li> <li>・体細胞分裂の過程でDNAが複製され、分配されることを理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複製前後のDNAの模式図を比較し、DNAの正確な複製には塩基の相補性が利用されていることに気づき、説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遺伝情報の複製と分配に関心をもち、主体的に学習に取り組める。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>○遺伝情報の複製と分配</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・半保存的複製</li> <li>・体細胞分裂</li> </ul> <p>・教材</p> <p>教科書、副教材、ワークシート</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DNAが半保存的複製によって正確に複製されることを理解できている。</li> <li>・体細胞分裂の過程でDNAが複製され、分配されることを理解できている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複製前後のDNAの模式図を比較し、DNAの正確な複製には塩基の相補性が利用されていることに気づき、説明できる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遺伝情報の複製と分配に関心をもち、主体的に学習に取り組めている。</li> </ul>	○	○	○	14
<p>第3節 遺伝情報の発現</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DNAの遺伝情報をもとにタンパク質が合成される転写・翻訳の過程を理解する。</li> <li>・分化した細胞では、細胞ごとに異なる遺伝子が発現していることを理解する。</li> <li>・遺伝子、染色体やゲノムの違いについて理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アミノ酸配列と、それを指定するDNAの塩基配列を示した資料をもとに、塩基3個がアミノ酸1個に対応していること、塩基3個の配列が同じであれば同じアミノ酸が指定されることに気づき、説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遺伝情報の発現に関心をもち、主体的に学習に取り組める。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <p>○遺伝情報の発現</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・転写</li> <li>・翻訳</li> <li>・コドン</li> </ul> <p>・教材</p> <p>教科書、副教材、ワークシート</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DNAの遺伝情報をもとにタンパク質が合成される転写・翻訳の過程を理解できている。</li> <li>・分化した細胞では、細胞ごとに異なる遺伝子が発現していることを理解できている。</li> <li>・遺伝子、染色体やゲノムの違いについて理解できている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・複製前後のDNAの模式図を比較し、DNAの正確な複製には塩基の相補性が利用されていることに気づき、説明できる。</li> <li>・同じ遺伝情報をもつ受精卵から、異なる形やたらきをもつ細胞が分化することに気づき説明できる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遺伝情報の発現に関心をもち、主体的に学習に取り組めている。</li> </ul>	○	○	○	
<p>定期考査</p>			○	○		1

<p>第3章 ヒトの体内環境の維持</p> <p>第1章 体内での情報伝達と調節</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体内での情報伝達が、からだの状態の調節に関係していることを理解する。</li> <li>・自律神経系と内分泌系が、からだを調節する仕組みを理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動によって心拍数が増加する仕組みを考察し、説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体内での情報伝達と調節に関心を持ち、主体的に学習に取り組める。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体内での情報伝達と調整 <ul style="list-style-type: none"> <li>・神経系</li> <li>・内分泌系</li> </ul> </li> </ul> <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書、副教材、ワークシート</li> </ul> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体内での情報伝達が、からだの状態の調節に関係していることを理解できている。</li> <li>・自律神経系と内分泌系が、からだを調節する仕組みを理解できている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動によって心拍数が増加する仕組みを考察し、説明できる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体内での情報伝達と調節に関心を持ち、主体的に学習に取り組めている。</li> </ul>	○	○	○	
<p>第2節 体内環境の維持のしくみ</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自律神経系と内分泌系のはたらきによって、血糖濃度などの体内環境が調節されるしくみを理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な人の食事の前後における血糖濃度・インスリン濃度のグラフをもとに、血糖濃度とインスリン分泌の関係に気づき、説明できる。</li> <li>・健康な人と糖尿病患者の食後の血糖濃度・インスリン濃度のグラフの比較に基づいて、糖尿病患者の血糖濃度が低下しない理由を考察し、説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体内環境の維持のしくみに関心を持ち、主体的に学習に取り組める。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○体内環境の維持のしくみ <ul style="list-style-type: none"> <li>・血糖濃度</li> <li>・インスリン</li> <li>・グルカゴン</li> <li>・血液凝固</li> </ul> </li> </ul> <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書、副教材、ワークシート</li> </ul> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自律神経系と内分泌系のはたらきによって血糖濃度などの体内環境が調節されるしくみを理解できている。</li> <li>・糖尿病の原因を理解できている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な人の食事の前後における血糖濃度・インスリン濃度のグラフをもとに、血糖濃度とインスリン分泌の関係に気づき、説明できる。</li> <li>・健康な人と糖尿病患者の食後の血糖濃度・インスリン濃度のグラフの比較に基づいて、糖尿病患者の血糖濃度が低下しない理由を考察し、説明できる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体内環境の維持のしくみに関心を持ち、主体的に学習に取り組める。</li> </ul>	○	○	○	19
<p>第3節 免疫のはたらき</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然免疫・適応免疫の仕組みと、それにはたらく細胞の役割を理解する。</li> <li>・免疫記憶の仕組みを理解する。</li> <li>・免疫のはたらきが低下、または過敏になったことで起こる病気や、免疫のしくみを利用した医療について理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・細菌に感染した部位の顕微鏡写真をもとに、免疫のはたらきを考察できる。</li> <li>・同じ抗原が2回体内に侵入したときの抗体産生量のグラフから、抗体産生の速さや抗体量の違いを読み取り、説明できる。</li> <li>・免疫の学習内容をもとに、未知の病原体に対する免疫のはたらきを考察し、自分の考えを述べることができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・免疫のはたらきに関心を持ち、主体的に学習に取り組める。</li> </ul>	<p>・指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○免疫のはたらき <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然免疫</li> <li>・適応免疫</li> <li>・免疫記憶</li> <li>・血液凝固</li> </ul> </li> </ul> <p>・教材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書、副教材、ワークシート</li> </ul> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然免疫・適応免疫の仕組みと、それにはたらく細胞の役割を理解できている。</li> <li>・免疫記憶の仕組みを理解できている。</li> <li>・免疫のはたらきが低下、または過敏になったことで起こる病気や、免疫のしくみを利用した医療について理解できている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・細菌に感染した部位の顕微鏡写真をもとに、免疫のはたらきを考察できる。</li> <li>・同じ抗原が2回体内に侵入したときの抗体産生量のグラフから、抗体産生の速さや抗体量の違いを読み取り、説明できる。</li> <li>・免疫の学習内容をもとに、未知の病原体に対する免疫のはたらきを考察し、自分の考えを述べることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・免疫のはたらきに関心を持ち、主体的に学習に取り組めている。</li> </ul>	○	○	○	
<p>定期考査</p>						1

後期	<p>第4章 生物の多様性と生態系</p> <p>第1節 植生と遷移</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな植生とその特徴を理解する。</li> <li>・植生の遷移の過程と、遷移が進行する要因について理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遷移の過程を示した資料をもとに、遷移の過程で裸地から低木林に移り変わる要因、植生の樹種が後退する要因について考察し、説明できる。</li> <li>・長い年月をかけて進行する植生の遷移を調べるには、どのような方法が考えられるか、自分の考えをまとめることができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植生と遷移に関心をもち、主体的に学習に取り組める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項               <ul style="list-style-type: none"> <li>○植生と遷移                   <ul style="list-style-type: none"> <li>・植生</li> <li>・遷移</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>・教材               <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書、副教材、ワークシート</li> </ul> </li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな植生とその特徴を理解できている。</li> <li>・植生の遷移の過程と、遷移が進行する要因について理解できている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遷移の過程を示した資料をもとに、遷移の過程で裸地から低木林に移り変わる要因、植生の樹種が後退する要因について考察し、説明できる。</li> <li>・長い年月をかけて進行する植生の遷移を調べるには、どのような方法が考えられるか、自分の考えをまとめることができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植生と遷移に関心をもち、主体的に学習に取り組めている。</li> </ul>	○	○	○
	<p>第2節 植生の分布とバイオーム</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界及び日本にみられるさまざまなバイオームが、気温と降水量の違いに起因して成立していることを理解する。</li> <li>・日本に分布するバイオームについて理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気温・降水量と陸上の主なバイオームの関係を示した資料をもとに、森林・草原・荒原のいずれになるかを決定する要因に気づき、説明できる。</li> <li>・日本の気候の特徴をもとに、日本に分布するバイオームについて考察し、説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植生の分布とバイオームに関心をもち、主体的に学習に取り組める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項               <ul style="list-style-type: none"> <li>○植生の分布とバイオーム</li> <li>・バイオーム</li> </ul> </li> <li>・教材               <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書、副教材、ワークシート</li> </ul> </li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界及び日本にみられるさまざまなバイオームが、気温と降水量の違いに起因して成立していることを理解できている。</li> <li>・日本に分布するバイオームについて理解できている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・気温・降水量と陸上の主なバイオームの関係を示した資料をもとに、森林・草原・荒原のいずれになるかを決定する要因に気づき、説明できる。</li> <li>・日本の気候の特徴をもとに、日本に分布するバイオームについて考察し、説明できる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・植生の分布とバイオームに関心をもち、主体的に学習に取り組めている。</li> </ul>	○	○	○
	<p>第3節 生態系の生物の多様性</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系がどのように構成されているのかを理解する。</li> <li>・生態系において、種多様性が維持される仕組みを理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系における個体数の変化を調べた実験結果に基づき、ある生物が種多様性に対して果たす役割を考察し、説明できる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系と生物の多様性に関心をもち、主体的に学習に取り組める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項               <ul style="list-style-type: none"> <li>○生態系と生物の多様性</li> <li>・生態系</li> <li>・種多様性</li> </ul> </li> <li>・教材               <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書、副教材、ワークシート</li> </ul> </li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系がどのように構成されているのかを理解できている。</li> <li>・生態系において、種多様性が維持される仕組みを理解できている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系における個体数の変化を調べた実験結果に基づき、ある生物が種多様性に対して果たす役割を考察し、説明できる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系と生物の多様性に関心をもち、主体的に学習に取り組めている。</li> </ul>	○	○	○
	<p>第4節 生態系のバランスと保全</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系のバランスが保たれているとはどのような状態かを理解する。</li> <li>・人間生活が生態系に与える影響と生態系の保全のために、どのような活動が行われているかを理解する。</li> <li>・生態系の保全の重要性を理解する。</li> </ul> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活排水の流入による生物の個体数と水質の変化のグラフをもとに、自然浄化のしくみを考察し、説明できる。</li> <li>・生態系への影響が予想される開発行為について、様々な観点・立場で考え、話し合い、解決策を模索することができる。</li> </ul> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系のバランスと保全に関心をもち、主体的に学習に取り組める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導事項               <ul style="list-style-type: none"> <li>○生態系のバランスと保全</li> <li>・自然浄化</li> <li>・外来生物</li> <li>・地球温暖化</li> <li>・絶滅危惧種</li> </ul> </li> <li>・教材               <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書、副教材、ワークシート</li> </ul> </li> <li>・一人1台端末の活用 等</li> </ul>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系のバランスが保たれているとはどのような状態かを理解できている。</li> <li>・人間生活が生態系に与える影響と生態系の保全のために、どのような活動が行われているかを理解できている。</li> <li>・生態系の保全の重要性を理解できている。</li> </ul> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活排水の流入による生物の個体数と水質の変化のグラフをもとに、自然浄化のしくみを考察し、説明できる。</li> <li>・生態系への影響が予想される開発行為について、様々な観点・立場で考え、話し合い、解決策を模索することができる。</li> </ul> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系のバランスと保全に関心をもち、主体的に学習に取り組めている。</li> </ul>	○	○	○
定期テスト						
						合計
						70